

宣言 (草案)

我日本労働同盟は、茲に第二十一回大会を迎へた。顧此は我總同盟の反愛會として孤々の産を擲りて以來既に二十五年、終始一貫資本主義の擧げ、迫害と戦ひ、又サンガカルズム及共產主義と挑撃し、一路健康なる労働組合主義確立の爲邁進し來た。而して資本家階級の労働組合に對する僻見、圧迫は未だ熾烈なるものがあるに拘はらず、労働組合は牢固たる存在として、彼等が否認せんとするも能はざる社会的、経済的地位を獲得した。又健全なる労働組合主義を指導精神とする日本労働組合會議成立し、我總同盟二十年の苦闘は着々報ひられつゝあるのである。

資本主義の矛盾より發生せる世界恐慌は、各國の産業を荒廢せしめ、國民生活を破壊し資本主義体制は極度に混乱動搖に陥り所謂「非常時代」を現出した。特に我國に於て滿洲事變の突發に伴ふ國際關係の悪化が、國內筋にも一層、政治的社会的不安を増大するに至つた。而してこの「非常時代」は、労働組合運動にも影響し、輕能浮薄なる一派は苦難なる運動より逃避し「ファシズム」に転向した。然し乍ら共產主義たる「ファシズム」とは同一と問はず「非常時代」に眩惑され或は之に藉口して、披檢的奇利を逞ひ、不斷の建設的職分を喪失するが如きは、労働組合の断じて據すべき邪道であると吾はおぼせらる。